

“平和を望む”なら“平和の準備”を

軍事費43兆円はいのち・くらしのために

訪問看護師



お一人暮らしの方から夜間に訪問看護ステーションへ緊急連絡があったので、お宅を訪問してみると低血糖の症状でした。理由を伺うと食料品が高すぎて年金が月末に足らなくなって、食事の量を減らしていたとのことでした。

友の会会員



冬の寒い時期に暖房費を節約するため電気ストーブを止めていたら、低体温症で意識がもうろうとなりました。幸い知り合いが見つけてくれて最悪の事態は免れましたが、電気料金が払えず、止められてしまうのではと今でも心配です。

食料品や電気代、ガス代の値上げ、医療費窓口負担増の影響で、私たち庶民の生活はますます厳しくなるばかりです。一方で岸田首相はアメリカに言われるがまま、国会にはかることなく軍事費の大幅増を閣議決定してしまいました。

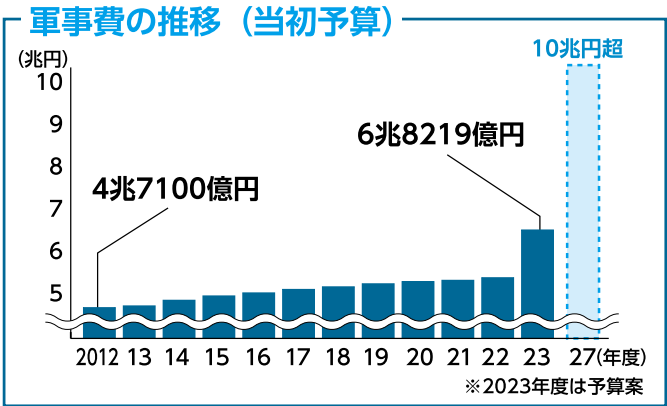
生活のために使ったら

あまりの巨額な金額にイメージが湧きにくいですが、年間増額分「約5兆円」を医療や介護、わたしたちの生活に使うと、どのようなことが可能なのか調べてみました。

5兆円という金額はちょうど、すべての国民が病院や診療所の窓口で支払っている公的な医療費を無料にすることができ金額です。コロナ禍の2022年に中野・杉並健康友の会が行ったアンケートでも、3割近くの患者さんが「経済的な理由で受診

軍事費上位10ヵ国(2021年)		
順位	国名	金額(億ドル)
1	アメリカ	8007
2	中国	2934
	日本	10??
3	インド	766
4	イギリス	684
5	ロシア	659
6	フランス	566
7	ドイツ	560
8	サウジアラビア	556
9	日本	541
10	韓国	502

ストックホルム国際平和研究所資料から作成。
中国、サウジアラビアは同研究所の推定値



この3年間コロナ、コロナ、コロナを向いてもコロナばかりでした。「これから世の中はWithコロナですが、医療機関はゼロコロナを求められます」(全日本民医連増田会長の言葉)。今までもこれからも、結構苦しい日々が続きます▼そんな中、民医連のチーム医療の良さって何だろう。どうして民医連で働き続けているんだろうと考えることが、時々ありました。長年、民医連の医師として活躍されている先生の講演にその答えがありました▼先生は民医連で働き続ける中で「自分ができるところを地域のニーズに合わせて。そう考える勇気を持つことができるようになる」▼「た」と話しました▼専門職として自分ができることを地域で生かす。独りよがりにならず、自分ができることは地域のニーズに合わせて力を発揮すること。そう考える人が多く集まる民医連だから、働き続けられていることに気づきました。

(渡)

防衛予算増額毎年5兆円を他の分野に活用したら

毎年の社会保障費自然増抑制	2200億円
義務教育の給食費無償化	4500億円
児童手当(1万円/月)高校までに延長	1兆円
大学の授業料無償化	1兆8000億円
医療の窓口負担をゼロに(公的医療費自己負担無償)	5兆1800億円
消費税2%減税	4兆3000億円
年金月1万円増額	4兆8000億円

葛飾区や北区で実現済!

海外ではあたりまえ



国民の生活が苦しくなる中、岸田首相は「防衛費」という名の「軍事費」の大幅引き上げを決めてしまいました。これまで、国は財源が乏しいと社会保障費を削ってきたのに、軍事費だけは予算検討での積算式ではなく、毎年GDP2%(約10兆円)を確保するというものです。5年間で43兆円もの増額です。これは国の予算編成の原則からも逸脱しています。さらに岸田政権の無責任さは、43兆円もの財源確保に目途がないというところにあります。いままでの政策の流れを考えると、社会保障費削減や増税など、いっそう国民負担が増えるのではと危惧されます。

医療分野では、社会保障費の自然増(経済成長や高齢化に伴って増えていくこと)2200億円は毎年抑制され続けています。これを削減しなければ診療報酬や介護報酬の引き上げが可能となり、医療や介護現場に余裕も生まれ、質や安全の向上につながります。

国民全体のためにできることは、5兆円あればたくさんあります。他国の基地を攻撃するミサイルや戦闘機を買う議論よりも夢が広がりますね。

誰もが安心して医療介護を

そもそも平和憲法を持つ日本が、「防衛費」という名目の「軍事費」がすでに他国と比較して9位にある現状そのものがおかしくはないでしょうか。健友会は「憲法の理念を尊重し、すべての人が等しく尊重される社会をめざし、いかなる戦争政策にも反対すること」を掲げる民医連という医療団体に所属しています。誰もが安心して差別なく医療介護を利用できる国を目指し、一緒に声を上げていきましょう。

(菅井)

シリーズ 住みなれた自宅で⑩

一人暮らしを支える生活支援サービス

— 中野区の場合 —

自治体には、おひとり様でも自立した生活が送れるよう支援するいろいろなサービスがあります。中野地域包括支援センターを訪ねて聞きました。

まずは相談を

マンションで一人暮らしのHさんの場合、コロナ禍前は演劇をやっている長男のライブに行くなど驚くほど活動的でしたが、足が弱ってきたので介護申請をして「要支援1」と認定されました。希望していた入浴ができるデイサービスを紹介してもらえました。

要支援と認定されなかった場合でも、必要なデイサービスや生活援助を受けられる制度があります。パンフレットや写真に詳しく載っています。また、高齢者会館などでは運動機能の維持や改善のためのプログラムが用意されています。困ったと思ったら、まずは地域包括支援センターに相談をしましょう。

助けを受け入れる

1月号で紹介した武藤康子さんは「要支援2」です。



ひろば

かわしま健康友の会

ももぞの健康友の会

えこ・ぬま健康友の会

桃井健康友の会

中野共立健康友の会

やまと健康友の会

桜山健康友の会

天沼健康友の会

西荻健康友の会

気持ちは「高校三年生」
今年も歌い継いで

2021年に9つの友の会と職員で歌い継いだ企画に、ふたたび取り組みました。前回は「上を向いて歩こう」。今回は青春時代を思い出しながら「高校三年生」を歌いました。前回よりも気合の入った映像になりましたので、ぜひご覧ください。一部診療所のテレビでも映像を流しています。

(事務局 大野)



健友会の事業所では無料低額診療事業をしています

医療費のお支払でお困りの方はご相談ください

無料低額診療事業とは…経済的理由により必要な医療が受けられない方々に、安心して治療を受けていただくための事業です。

利用するためには…収入状況等確認・申請による審査のうえ、適用となれば医療費の保険診療分が無料または低額になります。

〈対象となる方〉経済的な理由で治療費の支払いが困難な方

実施事業所

中野共立病院	03-3386-3166(代)
中野共立病院附属 中野共立診療所	03-3386-7311(代)
川島診療所	医科 03-3372-4438 歯科 03-3373-2741

薬剤師募集中！

薬剤師さんをご紹介ください。

薬剤師も地域へ、在宅医療を旺盛に展開

株式会社 東京医療問題研究所 本社事務局電話 3389-6911

〒164-0001 中野区中野 5-47-10

ホームページ <http://www.toiken.co.jp>

●青葉調剤薬局	中野区中野 5-47-10	3389-7110
●ちひろ薬局	中野区沼袋 2-30-7	3387-3426
●わかば薬局	中野区弥生町 3-27-11	3372-5664
●すみれ薬局	中野区東中野 3-17-17	3362-2510
●桃園薬局	中野区中野 3-3-2	3384-5527
●西荻みなみ薬局	杉並区西荻南 1-14-19	3335-7200
●なごみ薬局	杉並区天沼 3-28-8	5347-0671

3月号に掲載した2面の「友の会特別役員「リバー」」の記事に誤りがありました。訂正してお詫びします。

誤「アイメイト教会」→正「アイメイト協会」

編集部から

杉並区はついに補聴器購入補助制度を今年度6月から開始します。

中野区では「補聴器購入補助制度を求める署名」を多くの個人、団体の皆様のご協力で3月に目標としていた3000筆を超えて集めることができました。6月に行われる、新しい議会の第二回定例会への提出に向けて、さらに集めていきます。